

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.265)

1. PCB処理安全監視委員会について

3月23日(月)に、当事業所にて令和7年度第1回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が開催されました。今回の安全監視委員会では、JESCOから解体撤去工事の進捗状況、令和7年度の豊田市との協定に関する覚書の締結等について説明をしました。

解体撤去工事の進捗状況では、令和7年10月から令和9年10月までの計画で進めている高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事に着手したことなどを報告しました。

また、覚書の締結では、当事業所は令和6年3月に操業を終え、施設の解体撤去へ移行していることから、安全で着実な解体撤去の推進に向けて、事業開始以来の周辺環境の保全を第一に捉えた姿勢を維持した上で、豊田市との「豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書」の内容を解体撤去作業に適したものに見直すことについて説明しました。

最後に豊田市からは、当事業所への立入検査の実施状況や今年度のPCB処理環境モニタリング調査結果などの報告がありました。



委員からは、「解体撤去の段階に入り非定常作業が多くなっているため、マニュアルどおりといかず想定と異なることが発生することも予測される。現場がどのように対応できるかでトラブルを減らすことができるので、作業員に対する教育等についてもしっかり行ってほしい。」とご意見をいただきました。

2. 交通安全街頭活動に参加しました

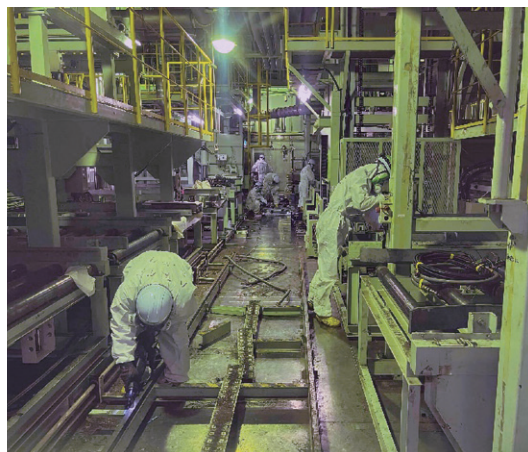
4月13日(月)に、地域で一番交通事故が多い朝の通勤時間帯に、豊田市「春の交通安全市民運動」に参加しました。

市民や事業者の交通安全意識の向上のため、当事業所と運転会社の社員が交通安全の横断幕やのぼりを立て、『Stop横断歩道歩行者発見!』『ゆっくり停止・発進』などのハンドプレート掲げて、通行するドライバーに安全運転を呼びかけました。



3. 解体撤去工事の進捗について

3月から本格的に「高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事(解体撤去対象設備:約730t)」に取り組んでいます。初めに、4階の裁断破碎エリア※内の搬送レールの解体撤去から開始し、順次周辺の処理設備に拡大します。主な解体撤去物は金属くずで、豊田事業所内の真空超音波洗浄設備で洗浄の上、適切に払出します。また、同エリアでは高濃度PCBを取り扱っていたエリアであり、作業員は必要な保護具を装着して工事を行っています。今後も引き続き労働安全衛生に注意しながら解体撤去工事を進めていきます。



裁断破碎エリアの解体撤去工事の状況

※操業時にコンデンサの素子、上蓋等を裁断破碎していたエリア

4. 令和8年1月の環境モニタリング調査結果について

当事業所の環境モニタリングは、排出源と周辺環境の2種類のモニタリングを実施しています。排出源モニタリングは、施設からの排気、排水、騒音、振動、悪臭を測定しており、このうち排気と排水中のPCBとダイオキシン類は年4回測定しています。令和8年1月のモニタリング結果は下表のとおりです。全ての調査項目で豊田市との協定で約束している管理目標値を下回っています。



サンプリング測定作業

令和8年1月のモニタリング結果

区分	場所	1月結果	管理目標値	単位	
排気	PCB	建屋排出口1 (1-4系ガラリ)	0.001未満	0.01以下	mg/m ³ N
		建屋排出口2 (5系)	0.001未満		
		建屋排出口3 (6系)	0.001未満		
	ダイオキシン類	建屋排出口1 (1-4系ガラリ)	0.00025	0.1以下	ng-TEQ/m ³ N
		建屋排出口2 (5系)	0.0000016		
		建屋排出口3 (6系)	0.00000099		
排水	放流口	PCB	0.0005未満	0.0005未満	mg/l
		ダイオキシン類	0.0044	5以下	pg-TEQ/l

なお、周辺環境モニタリングを含めた年度毎の結果などについては、以下のリンク先のJESCOホームページでご確認いただけます。

<https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/report.html>



デジ丸

問合せ先

アザラシのびーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>